

財政収支の中期見通し

(平成22～26年度)

「財政収支の中期見通し」につきましては、社会経済状況、国の制度改正等を反映させながら、毎年度公表してきたところであります。

今回の平成22年度から26年度につきましては、平成22年度決算を見込み時点修正を行なうと共に、『大分市行政改革推進プラン』の改善目標額を加味し試算いたしました。

なお、国庫補助金の一括交付金化など国の制度改正につきましては、収支に影響がないものと仮定して試算しています。

その結果、依然として厳しい財政状況が続くことが予測されますことから、今後も行政改革の継続的な取り組みや、市税等の自主財源の確保に努めることにより、安定的な財政基盤を確立させ、市民と行政との協働によるまちづくりを推進してまいります。

大分市財務部財政課

平成22年10月

財政収支の中期見通し（一般会計）

単位：億円

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市 税	767	775	777	778	780
地 方 交 付 税	95	88	87	86	86
国 県 支 出 金	370	384	414	411	422
市 債	165	160	225	160	160
うち臨時財政対策債	81	81	81	81	81
そ の 他	220	221	231	224	227
歳 入 A	1,617	1,628	1,734	1,659	1,675
義 務 的 経 費	968	996	1,003	1,019	1,033
人 件 費	338	334	315	311	306
扶 助 費	399	434	466	488	504
公 債 費	231	228	222	220	223
投 資 的 経 費	200	200	298	200	200
そ の 他	449	437	445	442	443
歳 出 B	1,617	1,633	1,746	1,661	1,676

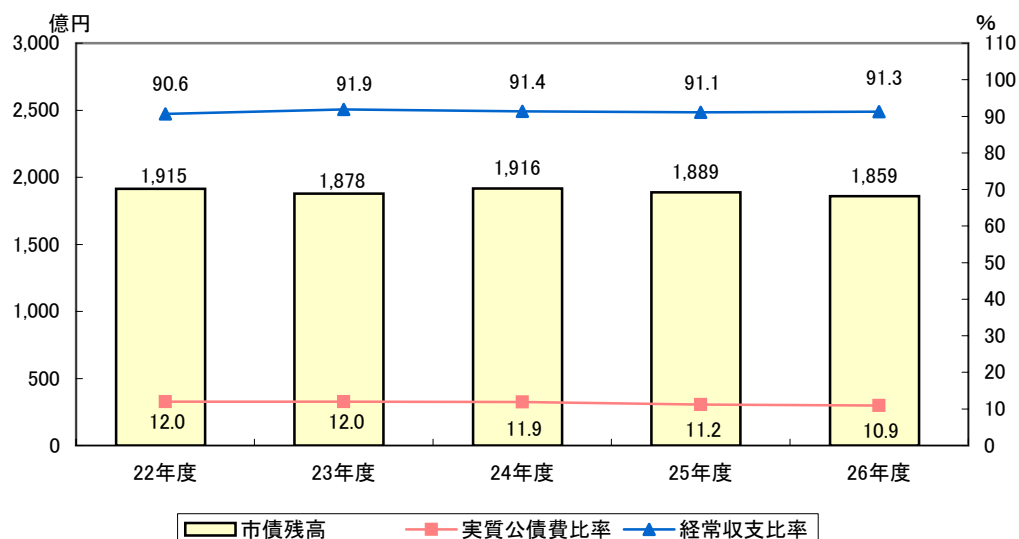
※臨時財政対策債は、国の地方交付税の原資不足分に対する地方債への振替措置として発行するもの

収 支 A-B		△5	△12	△2	△1
収 支 不 足 の 累 計		△5	△17	△19	△20

収支不足に対する措置

基 金 繰 入 金		5	12	2	1
基 金 積 立 金					
主 要 3 基 金 残 高	118	113	101	99	98

※主要3基金とは、財政調整基金、減債基金、市有財産整備基金をいう



財政収支の中期見通し試算の説明

<1> 歳 入

- ・市 税 平成22年度見込額をもとに平成22年度税制改正（扶養控除の廃止）や固定資産税評価替等を考慮し試算した。
- ・地方交付税 平成22年度見込額をもとに基準財政需用額及び基準財政収入額をそれぞれ推計し試算した。
- ・市 債 市債発行額は、主に投資的経費の充当財源として、現行の対象事業や充当率により試算し、24年度に複合文化交流施設建設の影響額を加算した。なお、臨時財政対策債については22年度見込みを基に試算した。

<2> 歳 出

- ・人 件 費 平成22年度の人件費をベースに「中長期的な業務執行方式の見直し」を踏まえた人員減を見込み、退職手当は定年退職者数などを積み上げて試算した。
- ・扶 助 費 生活保護費や障害者・高齢者・児童福祉費等、各制度毎に今後の伸率を推計して試算した。
- ・公 債 費 過去に借り入れた市債の償還金に、今後発行見込みの市債の償還金を加算した。
- ・投資的経費 平成22年度の事業費規模をベースに平準化し、今後200億円程の事業規模を確保することとし、24年度に複合文化交流施設の建設に係る経費を計上した。